

会員開発室方針

室 長 植木 厚祐

「自立と共助が調和し、生き抜く力と、生かされていることへの感謝が漲る社会へ」これは、日本ＪＣの２０１０年代運動指針です。半世紀の時を経た上越ＪＣでは、メンバー一人ひとりが真に自律し、皆が手を取り合い共助しているでしょうか。会員開発室である我々がこの想いを心に留めて率先して行動していくことで、メンバー一人ひとりに自律と共助の精神が伝わり、新たな半世紀への挑戦への一歩を踏み出す原動力になると考えます。

当室では、自律と共助が調和した人財育成と各種交流事業を通じて、互いに感謝の念が漲る信頼関係の構築に邁進いたします。まずオリエンテーション委員会では、新たな一歩を踏み出した新入会員の決断に敬意を表し、その志に応えるべくＪＣとはどのような団体なのかをこの一年間で体得して頂きます。同じ志を持つ同年代との出会いや、異業種とのふれあいに始まり、研修や講義、地域社会への奉仕活動を経験し、各種対外事業や大会にも積極的に参加し学び得ながら、社会を生き抜く力を養成することで真の自律を目指します。そして次年度には自ら率先して行動できる次世代の主役となるＪＡＹＣＥＥを育成します。また会員交流委員会では、毎月の例会セレモニー、新年・忘年例会、各種交流事業の設営を通じて、如何にしてメンバー同士の交流や他委員会との包括的な連携が図れるかを追求していきます。各委員会事業や各種対外事業にもＬＯＭを牽引し参加することで、共助の精神をＬＯＭ全体に広げ参加率向上を促します。そして全メンバーで創り上げる事業のスケール感や達成感を共に味わい、共感しあえる仲間作りの一助となるよう努めます。メンバーが自律し共助の精神を持つことで、あらゆる場面で決断し実行できる人財へと成長を遂げます。メンバーの成長は上越ＪＣの成長です。上越ＪＣが成長を遂げ、地域に根ざした運動を展開していくことで、上越地域の更なる発展に寄与するものと確信します。

【運営方針】

1. 新入会員を次世代の主役となるＪＡＹＣＥＥへと育成します
2. 共感を得る各種交流事業を通じて信頼関係を構築します。
3. ＬＯＭメンバーの手本となるよう積極的に各種事業に参加します。